

## 事業所名 うさぎとクローバー

## 運営推進会議開催報告書

開催日時	令和4年 2月 7日(月)	時 分～ 時 分
参加者	議 題	
利用者	0名	うさぎとクローバーの運営状況の説明
利用者家族	1名	・会社概要について
地域住民の代表者	1名	・利用者状況について
市職員	1名	・年間行事、取り組みについて
地域包括支援センター職員	1名	・事故、ヒヤリハットについて
事業所	2名	・地域への取り組みについて
会 議 録		
<input type="checkbox"/> コロナウィルス感染拡大防止の観点より、関係各位に資料をお渡しし、FAX やメールにて質問を受け付ける形とさせていただきました。		
<input type="checkbox"/> 質問の回答		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所より <ul style="list-style-type: none"> <li>①避難訓練を月に一回行っているとのことですが、具体的な訓練内容や所要時間は？ →地震、火災発生時、警報発令時、救急搬送、不審者避難誘導などの内容で行っています。 通報のシュミレーション、利用者誘導に関して時間をとっています。所要時間は20～30分です。</li> <li>②感染症対策をとりながらの中、レクや活動等で具体的な変化や工夫等は？ →レクに関しては、手芸が主ですので、使用器具の消毒の強化が変化としてあります。食事やおやつを作るレクに関しては、手袋・マスク着用で、全体的には加熱するものを作成、和菓子など非加熱のものは、材料を一人ずつに分けて、共用しないように準備して行っています。</li> </ul> </li> <li>・包括支援センターより <ul style="list-style-type: none"> <li>①ヒヤリ、事故報告の中で段差でのつまずきそうになる6件、歩行中のふらつき3件とありますが、段差解消等住環境等対策等は？ →施設新築にあたり、バリアフリーの提案もいただきましたが、私どもではあえて段差解消を行いませんでした。利用者さんが日常生活の中で危険箇所に対応でき</li> </ul> </li> </ul>		

るADLを保っていくことが大切だと考えております。危険箇所ではスタッフが付き添い、声掛けを行っており、ヒヤリ事例をもとに体操時に注意喚起とともに運動内容を提案しています。

②パン、お弁当などライブラリー部門について教えて。

→独居の利用者さんから、1人分のおかずを作ることの不便さを伺い、煮物などの惣菜が一品あればうれしいという声から立ち上げました。ただ提供するだけでなく、一緒に作ることをしたいと考えました。

お惣菜からお弁当があれば、という声につながり、明日の朝のパンがあればという声がありましたので、依頼があればという形で活動しています。サポートを受けるか受けないかの二択ではなく、中間的サポートができる部門として地域の方の一助となれればと考えています。

• 地域の方より

大人の充活ワンコイントレーニングの開催予定は？

→前回、栄養の分野で受託を受けたにも関わらず、弊社の事情により開催できませんでした。また次回の募集の際には再開できるようにと願っています。

• ご家族様より

家族以外の人と会話、交流できなくなっている中、うさぎさんに通うことが母の楽しみになっています。

色々な企画で初体験することができて、家で楽しそうに話をしているので、ありがたいと思います。

□ 次回開催日程について

令和4年3月11日（金） 10時から を予定しています。